

## 「アゲハの幼虫模型づくり (2)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

「虫嫌い!」「イモ虫は特にムリ!」という子どもは多い。女の子だけでなく、男の子にもその傾向がある。「アゲハの幼虫を一度も見たことがないのに、嫌い!」という不思議な現象も見られる。しかし、このペーパークラフトだと、そういった嫌悪感は全く感じないようだ。



最初は印刷した幼虫の型紙をただ見て、キャーキャー言っていた子どもも、次第に慣れてきて、夢中で作り始める。上の写真は、切り終わった型紙を、セロテープで筒状にしているところである。



筒状になった幼虫の型紙に、今度はティッシュペーパーを詰めて、幼虫の立体的な形を作ってゆく。脱脂綿のほうが良いのだが、できるだけ身近なものを使わせたいと思った。開口部は、頭でもお尻でも、写真のように背中でも良い。



ティッシュペーパーは細長く丸めて詰めてゆく。隅まで入らない時は、鉛筆で押し込むと良い。



セロテープカッターとティッシュボックスは、各班に配らずに、あえてクラス内に3か所だけにした。当然その周囲に集まって作業をする子どもが多い。実はこれが良い。いろいろ相談したり、真似したり、アドバイスし合ったり、より良いものを作ろうという営みが自然に生まれる。これを「**あーだこーだ効果**」という。この写真の上端の女の子は、最初「型紙」を怖がっていたが、「あーだこーだ効果」ですっかり恐怖心がなくなり、実に楽しそうだった。(つづく)